

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名 一般国道 253 号 八箇峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局	
起終点 自：新潟県十日町市八箇 至：新潟県南魚沼市余川			延長	8.5km	
事業概要 一般国道 253 号八箇峠道路は、地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を形成し、通行規制区 間や交通の難所である「八箇峠」の交通障害の解消、十日町市・南魚沼市間の連携強化及び地域振興支 援などを目的とした延長 8.5km の直轄権限代行による道路事業である。					
H12 年度事業化	都市計画決定：－	H13 年度用地着手	H12 年度工事着手		
全体事業費	約 603 億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)	94%	供用済延長	6.6km
地域の防災面の課題 ・十日町地域と南魚沼地域の中心都市を結ぶ主要幹線道路であるが、線形不良区間が連続しており、冬期 間をはじめとし大型車通行に支障が生じている。 ・連続雨量 80mm で通行止めとなる区間が存在するほか、道路災害や雪崩等による通行止めが発生している。 (平成 23 年 7 月新潟・福島豪雨では約 3,300 時間の通行規制が発生) ・通行止めが発生した場合大幅な迂回が必要となり、物流や地域生活に多大な影響を及ぼすことから、 地域の喫緊の課題として、抜本的な対策が求められている。					
課題を踏まえた対策・事業内容 ・現道は急峻な地形にあり、全線での現道対策は大規模な改修工事が必要となる等、課題が多いため、 8.5km の別線を整備することにより課題箇所を回避。					
事業の効果等			費用 (残事業) / (事業全体)		
① 緊急輸送道路ネットワークの強化 ・大雨等による土砂崩れや雨量規制に伴う通行止めを回避し、信頼性の高い緊急輸送道路として災害時の緊急活動等を支援する。			64 / 873 億円 〔 事業費： 61 / 856 億円 維持管理費： 2.7 / 17 億円 〕		
② 災害時も日常生活を支える道路 ・関越自動車道・国道17号との接続を強化し、安定的な輸送路を確保することで、災害時においても日常生活を支える道路としての役割が期待される。					
③ 冬期間におけるスムーズな交通の確保 ・降雪、積雪、凍結の影響による通行規制や雪庇除去に伴う片側交互通行規制を回避する。					
④ 救急救命活動の支援 ・魚沼基幹病院への救急搬送時間短縮による救急救命率の向上や救急搬送環境の改善が期待される。					
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見： 上越市をはじめとし3市2町（十日町市、南魚沼市、湯沢町、津南町）で構成される、上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会から整備促進の要望を受けている。					

知事の意見：

県民の安全・安心を確保し、活力ある新潟県を創るため、事業の継続を望みます。
 本事業は、地域経済の発展や産業振興に寄与することに加え、大規模災害時には広域救援活動を支える道路整備として、当県にとって重要な事業と認識しております。今後もコスト縮減に努めつつ、着実な整備をお願いします。
 併せて、本県は、厳しい財政状況のもと、公債費負担適正化計画に定めたルールに基づき、毎年度における投資的経費を公債費の実負担で管理していることから、事業の実施に当たっては、地方負担の軽減や直轄事業負担金の平準化などをお願いします。

事業評価監視委員会の意見

・審議の結果、再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・令和元年度に、一般国道 253 号十日町道路が事業化された。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・事業の進捗状況：用地進捗率 99%、事業進捗率 94%（令和 5 年 3 月末時点）
 ・残事業の内容：用地買収、道路設計、改良工事を推進

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・野田 IC～余川 IC 間（延長 1.9km）の早期開通を目指して整備を進める。

施設の構造や工法の変更等

・新技術、建設発生土の有効活用等により、コスト縮減を図る。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

・当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みからも、引き続き事業を継続することが妥当であると考えます。

事業概要図



※ 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。